

2014 年度活動報告書
(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)

<はじめに>

2014 年度の事業報告にあたり、当年度 10 月に非常勤職員の業務上横領が発覚したことのご報告とお詫びを申し上げます。皆さまと共に 10 数年に亘り、こつこつと積み上げてきたファンドの寄金と信頼を著しく損じてしまいました。管理の甘さによるものと心より反省しております。

事件発覚後、事実関係の把握と関係諸機関への謝罪や説明、そして、再発を防止するための第三者評価委員会の立ち上げなど、事件対応にあたってきました。引き続き、担当の弁護士と共に失った金銭の回収に刑事、民事の両面から取り組んでいきます。

このような状況となり、昨年 12 月 25 日以降、寄付の受け入れや寄付金募集事業を自粛しております。次年度につながる助成選考委員会の審議もやむなく休止となっております。2014 年度総会にてご承認いただきました一連の事業計画の全てを実現するには至りませんでした。改めてお詫び申し上げます。

事件の対応に追われている最中、子どもを支える地域の NPO からは一日も早い活動再開をとのエールをいただき、勇気づけられました。皆さまのお力をいただきながら、一層の信頼回復に努め、神奈川の子ども・若者・子育て支援を再開したいものと願っております。

今後さらに積極的な情報公開と透明性のある組織づくりに力を注いでまいります。何卒、ご協力・ご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

<2014 年度事業の取組の概要>

1. 会員募集

正会員 81名、準会員 36名、子ども応援会員74名・組織（自動払込会員43名含）
(2015年3月末現在)

2. 寄付の募集事業 2014年度寄付金総額 2,118,837 円

3. NPO 助成事業

神奈川子ども未来ファンド助成事業の実施

- (1) 2013年度助成贈呈式・報告会の開催
2014年6月1日（日）13：00～16：00
- (2) 2013年度助成対象団体への技術支援・活動訪問

4. 啓発事業

- (1) 朗読劇「ハッピーバースデー」チャリティ公演2015小田原の開催
(2015年1月25日)
- (2) 各種委員会への参加・協力等

5. ネットワーク事業

市民ファンド推進連絡会への参加・協力等

6. 調査研究事業

体制が整わず実施しませんでした。

7. 広報事業

- (1) 東日本大震災の避難者へ県内の子ども・若者支援、子育て支援 NPO の支援情報
収集と発信
- (2) メールマガジン、広報紙発行、ブログ、フェイスブック等による情報発信
- (3) 英文 WEB ページの作成、WEB サイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営
- (4) 広域への情報発信・PR 活動
- (5) NPO の情報発信支援

8. 組織運営

- (1) 通常総会(1回)、臨時総会(1回)、理事会 (16回)、運営委員会 (5回) の開催
- (2) 若者によるイベントチームの活動
- (3) 若者の社会体験ボランティアの受入れ

<2014年度事業の取組内容>

1. 会員の募集

運営基盤の安定化を図り、会員の拡大に努めました。
更新手続き不備の会員も多く、結果的に増加には至りませんでした。

【2015年3月31日時点の会員数】

正会員	81名 (前年度82名)
準会員	36口 (前年度36口)
子ども応援会員	74名・組織 (前年度91名 自動払込会員43名含)

2. 寄付の募集・受け入れ

- (1) 2014年度の寄付受入れに関する各種協力
「ヨコハマ・アコースティック・フェスティバル」などのイベントで募金活動をしました。
- (2) 各種寄付プログラム実施と寄付の受け入れ
 - ◆一般寄付金総額 : 2,118,837円 (前年度比△1,398,413円)
 - ◆ファンド支援寄付金総額 : 0円 (前年度比△308,593円)
 - ◆協賛金総額 : 2,275,264円 (前年比 △71,422円)
 - ◆寄付協力組織数 : 延36企業・団体等
 - ◆協力個人数 : 延19名

【一般寄付金の内訳】

補助科目	金額 (円)	割合 (%)	協力 個人数	協力 組織数
企業からの寄付	1271225	60		11
個人寄付	130,318	6.2	15	
奉仕組織・NPO等からの寄付	95,062	4.5		11
歳末寄付	0	0	0	
ゆうちょ銀行口座からの自動払込寄付	130,300	6.1	43	
職域での募金、チャリティプログラム	313,643	14.8		3
オンライン寄付(クレジットカード・ネット銀行)	96,150	4.5		
応援商品寄付	23,830	1.1		
募金箱	55,849	2.6		7
イベント等	2,460	0.1		2
合 計	2,118,837	100	58	34

3. NPO への助成

神奈川子ども未来ファンド助成事業の実施

(1) 2013 年度助成贈呈式・報告会の開催

2014 年 6 月 1 日(日) 13:00~16:00

(2) 2013 年度助成対象団体への技術支援 0 件でした。

また、助成対象団体への活動訪問・取材等を行ないました。

4. 啓発事業

(1) 朗読劇「ハッピーバースデー」2015小田原公演の開催

子ども達へ生きる勇気を届け、応援の輪を広げるために、昨年に引き続き多くの組織のご協力、ご協賛を得て小田原市民会館大ホールに於いて開催しました。

【朗読劇「ハッピーバースデー」チャリティ公演2015小田原】

□開催概要

公演日時: 2015年1月25日(土) 2回公演(昼13時~、夕17時~)

会 場: 小田原市民会館大ホール(1,098名定員) チケット: 2,000円(全席自由・税込)

主 催: 朗読劇「ハッピーバースデー」チャリティ公演2013横浜実行委員会、(特)神奈川子ども未来ファンド、(有)オフィス・デュオ、(株)tvkコミュニケーションズ

出 演: 田原アルノ、野村道子、はやみけい、斎賀みつき、甲斐田裕子、稲川英里
他

演 出: 二瓶紀六 制 作: 有限会社オフィス・デュオ

原 作: 『ハッピーバースデー』(青木和雄・吉富多美共著 金の星社刊)

□観客動員/ボランティアスタッフ

総動員数: 約1,800名(昼約1,000名/夕約800名 親子招待120名 (昼夕30組づつ))

小・中学生の親子の他に、設立10周年記念事業として、視覚障がい者や児童相談所の子どもたちを始め、当ファンドの活動にご尽力いただいた方々への招待を実施しました。広報については、横浜市立小中学校へのポスター、案内チラシ配布のほか多くのメディアを通じて呼びかけました。また関係各機関や市民団体等への協力要請も行き、多くの方々

の協力を得て招待が実現しました。

運営ボランティア:延べ約110名

□寄贈:原作本「ハッピーバースデー」文芸書版 150冊寄贈

寄贈先:小田原市、秦野市 南足柄市 中井町 大井町 松田町 山北町 開成町
箱根町 真鶴町 湯河原町の全公立保育園・幼稚園・小学校・中学校

全公立保育園・幼稚園・小学校・中学校

□募金総額:1,272,038円

(2) 講演会や委員会への参加・協力

昨年に引き続き「神奈川県子ども・子育て支援推進協議会」等の会議へ参加するとともに、講師依頼や各種審議会・委員会にも対応しました。

【講師・パネリスト等】

横浜ロータリークラブ例会、MDRT 講話、他。

【各種審議会・委員会】

○バリアフリーの街づくり推進県民会議

○横浜市ボランティアセンター運営委員 ほか

5. ネットワーク事業

NPO、NPO の推進組織並びに全国の市民ファンド等と連携促進を図るとともに、神奈川子どもファンドの意義や役割の周知に努めました。

6. 調査研究事業

寄付募集事業に資する調査研究事業については、今年度は実施を見合わせました。

7. 広報事業

(1) NPO データベースの運営

子ども、子育ての貢献活動を行う企業等と NPO の連携促進を目的とする「神奈川の子ども・若者・子育て支援 NPO データベース」の管理・運営に努めました。

◆データベース「子どもの居場所情報箱」

<http://www.kodomofund.com/search/index.html>

◆データベース「神奈川の子ども・若者・子育て支援NPOデータベース」

http://kodomofund.com/search/kensaku_index.htm

(2) メールマガジン、広報紙発行、ブログ、ツイッター、フェイスブックによる情報発信

年2回発行の広報紙と月1回発行のメールマガジンを定期発行し、ファンドの活動報告や寄せられた支援、助成対象団体の紹介などを発信しました。また、ブログやツイッター、フェイスブックを活用した日常的な活動状況の発信に努め、活動の透明性を高めました。

◆メールマガジン 月間+特別号 計13回発行

◆広報紙「ハンズtoハンズ」34号(3,000部)・35号(3,500部)を発行

◆ブログ <http://blog.canpan.info/kodomofund/>

◆ツイッター <https://twitter.com/kodomofund>

◆フェイスブック <https://www.facebook.com/kodomofund>

(3) WEB サイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営

昨年度に引き続き、神奈川子ども未来ファンドWEBサイト・携帯モバイルサイト、子ども、子育ての貢献活動を行う企業等と NPO の情報交流を目的としたポータルサイト「神奈川の子ども支援ポータル」を運営し、子ども・若者や子育ての支援を行うNPOの活動情報、各種非営利イベント情報、NPO を対象とした助成金公募情報などの提供、地域貢献活動に取り組む企業情報の発信に努めました。

(4) イベント・キャンペーンでの PR 活動

年間を通じて多くの人が集まる機会に出店や展示に参加し、広く市民や企業、組合等にファンドの認知を高める取り組みをしました。

【展示・広報・出店等での参加】

- ア) かながわ中央メーデー
開催日程：2014年4月26日(日)
会 場：臨海公園
参加内容：飲料販売、募金活動
主 催：連合神奈川
- イ) モトスミ・ブレーメン通り商店街 子どもの日チャリティイベント
開催日程：2014年5月4日(日)
会 場：モトスミ・ブレーメン通り商店街(川崎市中原区)
参加内容：綿菓子づくり
主 催：モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合
- ウ) 横浜F・マリノス ファン感謝デー トリコロールフェスタ
開催日程：2014年6月14日(土)
会場：マリノスタウン(みなとみらい地区 新高島町)
参加内容：ボウリングミニゲーム、募金活動
主催：横浜マリノス株式会社
- エ) 児童労働撲滅キャンペーンin神奈川2014
開催日程：2014年6月15日(土)
会 場：横浜そごう新都市プラザ(横浜市西区)
参加内容：広報パネル展示、パンフレット・チラシの配布
主 催：NTT労働組合
- オ) フリ・フリ・フェスタ(青少年のサポートを行うNPOの活動紹介・相談活動)
開催日程：2014年9月13日(土)
会 場：神奈川県立青少年サポートプラザ(横浜市西区)
参加内容：缶バッチづくり、募金活動、活動紹介
主 催：同実行委員会
- カ) モトスミ・ブレーメン通り商店街 フライマーケット
開催日程：2014年10月5日(日)
会 場：モトスミ・ブレーメン通り商店街(川崎市中原区)
参加内容：商店街関係者物品提供によるフリーマーケット
主 催：モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合
協 力：モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合・井田みすぎ子ども会
- キ) YOKOHAMA ACOUSTIC FESTIVAL 2012
開催日程：2014年9月28日(日)
会 場：山下公園(横浜市中区)

参加内容：Song for smileフラッグの作成、ステッカーの販売、子どもや親子の記念写真撮影、活動紹介

主 催：YOKOHAMA ACOUSTIC FESTIVAL実行委員会

ク) ヨコハマWaiWaiフェスタ

開催日程：2014年10月19日(土)

会 場：横浜公園(横浜市中区)

参加内容：募金活動

主 催：同実行委員会(事務局横浜市労働者福祉協議会)

ケ) 神奈川県バリアフリーフェスタ

開催日程：2014年11月8日(土)

会 場：アリオ橋本

参加内容：ブース運営

主 催：神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議

コ) 第24回ダンボふれあいバザー

開催日程：2014年11月23日(祝)

会 場：地域作業所ダンボ周辺(横浜市保土ヶ谷区和田町)

参加内容：ブース運営

主 催：地域作業所ダンボ・福祉を考える会

(5) 広域への情報発信・PR 活動

新聞タウン誌等の報道のほか、イベントへの参加 10件

8. 組織運営、基盤強化に関する取り組み

(1) 通常総会(1回)、臨時総会(1回)、理事会(16回)、運営委員会(5回)の開催

神奈川県子ども未来ファンドの各種事業の円滑実施のために、通常総会、理事会及び、運営委員会を開催しました。

ア) 通常総会

日時：2014年5月26日(木) 19時～20時30分

場所：かながわ県民活動サポートセンター 11階 コラボスタジオ

議題：2013年度事業報告、2013年度収支計算書、2014年度事業計画、2014年度収支予算書、2014年助成選考委員について

イ) 臨時総会

日時：2014年12月11日(木) 19時～20時30分

場所：かながわ県民活動サポートセンター 11階 コラボスタジオ

議題：業務上横領事件の発生と経緯について、当面の口座保全と再発防止策について、刑事訴訟・民事訴訟の方針について、当該社員の除名について

ウ) 理事会(16回)

2014/4/2、4/22、5/13、5/20、5/26、7/4、9/1、10/14、10/28、12/3、12/25、
2015/1/20、2/1、2/9、2/19、3/4、3/14

理事懇談会（1回） 2014/4/14

エ)運営委員会（全5回）

4/17、5/15、6/30、7/24、9/12

(2)若者によるイベントチームの活動

若い力を発揮できるような場をつくり、イベント等に取り組みました。

主に取り組んだイベント

ア)プレーメン通り商店街こどもの日キャンペーン

イ)新入会員勧誘キャンペーン

ウ)ヨコハマ・アコースティック・フェスティバル

(3)若者の社会体験ボランティアの受入れ

ア)若者の社会体験の機会としてのボランティア受入れ（通年）

横浜若者サポートステーションの事業に協力し、若者の社会体験の機会としてボランティアの受入れを行いました。発送作業や資料印刷などの実務作業、イベント出展等の活動への参加を促しました。

